

# 令和4年 第5回町議会臨時会

## 議会ニュース

令和4年第5回町議会臨時会が11月25日に招集され、議案7件が審議され、同日閉会しました。そのあらましについてお知らせします。

### 町政報告

#### 国保診療所医師の着任

去る7月1日から週3日午前中、北海道社会事業協会余市病院からの臨時医師派遣による診療体制の確保を図りながら、後任医師の招聘実現に努めてまいりましたが、11月15日付けで、後任医師として札幌市中央区在住の男性医師1名を会計年度任用職員として採用し、同日着任しました。

新たに着任した医師は、平田翔氏、36歳です。

同氏は、愛媛県出身で、平成24年に、札幌医科大学を卒業され、研修医の後、同大学附属病院勤務を経て、今年10月末日まで、札幌市内の民間病院に勤務されていきました。専門は、消化器内科です。

今後の診療体制につきましては、今月末までを臨時派遣医師との引継期間とし、12月1日からは、平田医師専任により土日祝日を除く月曜日から金曜日までの従来の診療体制の維持を基本としたいと考えています。

また、平田医師の任用条件等につきましては、同医師のご意向も踏まえて、前任の高橋医師と同程度の報酬並びに勤務条件として発令いたしました。

この度の年度途中5カ月間にわたる当国保診療所の診療体制の確保に際しましては、全道的な医師不足による医療環境の厳しさが今も続いている状況下で、7名の余市協会病院在勤医師の派遣のご支援をいただきました。

吉田秀明余市協会病院長をはじめ、社会福祉法人北海道社会

事業協会の格別のご高配に深く感謝とお礼を申し上げます。

### 審議された案件

#### 議案第1号

##### 積丹町職員の給与に関する条例の一部改正について

令和4年人事院勧告に基づく国家公務員給与改定に準拠して、町職員の給料表及び勤勉手当支給率の改定措置を令和4年度支給分から適用実施するため一部改正するもの。

#### 議案第2号

##### 特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について

積丹町特別職報酬等審議会の答申を経て、特別職、教育長及び議会議員の期末手当支給率の改定措置を講じ、令和4年度支給分から適用実施するため、関連する三条例の一部を一括して改正するもの。

#### 議案第3号

##### 積丹町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

常勤一般町職員の給料表に準じている会計年度任用職員の給料表の改正措置を令和4年度支給分から適用実施するため一部改正するもの。

#### 議案第4号

##### 令和4年度積丹町一般会計補正予算(第4号)

職員人件費等544万5千円、地方創生臨時交付金事業費1,833万5千円、他会計繰出金51万7千円、物価等高騰緊急支援給付金2,800万円、余市協会病院救急医療体制維持事業補助金147万1千円など

1億5,991万2千円にしようとするもの。

#### 議案第6号

令和4年度積丹町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

事業勘定・職員人件費4万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億2,261万1千円にしようとするもの。

直診勘定・職員人件費15万円、酸素濃縮機賃借料18万円を追加し、歳入歳出予算の総額を8,353万7千円にしようとするもの。

#### 議案第7号

##### 令和4年度積丹町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

職員人件費9万円を追加し、歳入歳出予算の総額を8,252万8千円にしようとするもの。

(議案第1号から議案第7号) いずれも原案可決

#### 議案第5号

##### 令和4年度積丹町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

職員人件費4万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を

### 町政報告 (要約)



令和4年第4回町議会定例会が12月14日に招集され、選挙1件、諮問1件、議案1件が審議され、同日閉会しました。  
そのあらましについてお知らせします。

#### はじめに

国際情勢の悪化や急速な円安に伴う物価上昇の深刻な状況は、今後も先行きが見通せず、我が国の国民生活や社会経済活動への影響の更なる長期化が懸念されています。そして、新型コロナウイルス感染症の影響も、依然として細心の国民行動を求められる状況が続いています。

民間信用調査会社の12月1日発表によりますと、原材料費の高止まりや電気・ガス代の上昇などを反映して、来年中に値上げを予定する食品は、11月末時点で4,400品目を超え、平均値上げ率は、今年に比べ3ポイント高い17%、うち全体の7割強の約3,200品目は来年2月に値上げ予定との食品価格の動向予想が報じられています。

全国町村会では、こうした未曾有の国難下での地方自治体の今後の行財政運営への長期的な影響を危惧し、「地域経済の再生・回復」と、町村が持続可能な自主的・自立的な地域の創生施策を展開する上での命綱である「地方交付税等の総額確保」に向けて、万全の対策を講じることを政府に強く求めています。

私たちは、12月10日会期末の臨時国会や、明年1月召集の次期通常国会での、国の令和5年度予算案審議における「防衛力」、「経済再生」、「コロナ感染対策」、「社会保障」、「地方財政」、「防災・減災対策」など我が国の喫緊の重要政策課題に伴う「財源の確保」と「国民の負担」のあり方という国家財政論議の行方と併せて、本町の「三つの課題」克服への影響に特に大きな関心を寄せていかなければなりません。

#### 町政報告

##### 国等への要請活動

全国町村長大会は、11月17日、東京都、ホテルニューオータニで、全国926の町村長、都道府県町村会関係者及び来賓の栗生内閣官房副長官など約1,200人が出席して開催されました。

また、10月27日には、北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進期成会、北海道新幹線建設促進後志・小樽期成会の中央要望活動、11月17日に公益社団法人全国国土調査協会理事会及び同協会令和5年度地籍調査整備関係予算財務大臣要望活動、18日に水産業振興・漁村活性化推進大会及び定期総会、北海道「命のみち」づくりを求める東京大会及び全国観光地所在町村協議会総会に出席しました。

また、これらの上京に併せ、関係府省庁のほか、B&G財団、公益社団法人燈光会及び(二財)地方財務協会などを訪問しました。



## 新型コロナウイルス感染症対策

### (1) 道内の感染状況及び対応の動向

11月29日の道内の感染者は、9,702人と高止まりの状況が続いており、死者数は過去最多の58人で、町内においても11月22日から28日までの感染者数は、7人となっております。

道では、感染者数が高止まりの状況にあるものの、病床使用率が55・2%、重症病床使用率が13・8%と、レベル3の目安に至らないことから、同月29日の対策本部会議では「対策強化宣言」の発令を見送ることを決定しました。

このような状況から、道では、基本的な感染防止行動（三密回避、手指消毒、マスク着用、換気の徹底など）の実践と、ワクチン未接種者の早期接種を積極的に検討していただきたいことを道民に訴えています。

また、年末年始期間で、医療機関が休業中の場合には、「北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター」（24時

間受付）の相談窓口の利用を啓発しています。

### (2) 町民のワクチン接種状況

11月30日までの当町のワクチン接種済数は、全町民対象者数1,830人の内、1回以上接種済者1,582人（86・4%）、65歳以上対象者数883人の内、1回以上接種済者は、832人（94・2%）という状況です。

### (3) 町の接種体制等の状況

国保診療所の接種体制につきましては、12月8日木曜日に午前30人、午後30人の計60人の接種を予定しています。

また、町独自の総合文化センターでの集団接種は、11月13日（150人）に続いて、12月18日（150人予定）に予定しています。

### (4) 抗原検査キットの無償配布

今年度購入を予定していた町民配布用「マスク」については、5月23日に政府の基本的対処方針の改訂により、「屋外では原則不要、屋内でも会話を行わない場合には、マス

クの着用が必要ない。」と変更されたことから、マスク購入費予算の執行を見合わせてきました。

また、9月26日からは、感染者の全数届出の見直しを実施されたことにより、症状がある方は、北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター等に連絡の上、自己診断を行い自宅療養すること、また、濃厚接触者であっても無症状の方は、行政検査対象とされないことになりました。

こうした国のコロナ感染症対処方針等が変化した一方で、新たな感染者数の高止まりへの町民の不安感も高い状況が続いていることから、「マスクの購入」を「抗原検査キットの購入」に替え、無症状ではあるが感染の不安を持たれる町民の希望者に対しては、町が随時速やかに検査キットを無償配布できるように、明年1月から常時、役場住民福祉課に配備することにしました。

町民の年末年始における感染拡大防止対策を徹底し、町民並びに飲食店等事業者の皆さんには、両ワクチンの早期接種と日常生活でのマスクの着用や手指消毒、健康保持、店内の除菌・換気対策など基本的な感染予防対策に取り組んでいただき、家族、友人、そして自身の命・健康を守るため、引き続きご協力をお願いいたします。

町民の希望者に対しては、町が随時速やかに検査キットを無償配布できるように、明年1月から常時、役場住民福祉課に配備することにしました。

町民の希望者に対しては、町が随時速やかに検査キットを無償配布できるように、明年1月から常時、役場住民福祉課に配備することにしました。

### (5) 年末年始の感染拡大防止に向けて

町内においても、散発的な

新規感染者が見られる中で、コロナ感染リスクが高まる季節を迎え、インフルエンザとの同時流行も懸念されています。

町民の年末年始における感染拡大防止対策を徹底し、町民並びに飲食店等事業者の皆さんには、両ワクチンの早期接種と日常生活でのマスクの着用や手指消毒、健康保持、店内の除菌・換気対策など基本的な感染予防対策に取り組んでいただき、家族、友人、そして自身の命・健康を守るため、引き続きご協力をお願いいたします。

## 企画課関係

### 後志広域連合の動向

後志広域連合会議は、構成町村長が出席して11月4日に開催され、議会付議案件等についての審議を行いました。

後志広域連合議会第2回定例会は、11月30日招集され、令和3年度一般会計、国民健康保険事業特別会計及び介護保険事業特別会計の各決算認

定、令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算案の4件が審議され、全議案を原案のとおり可決し、同日閉会しました。

令和3年度各会計決算の概要について、決算審査意見書により報告します。

①税及び税外の滞納整理は、引受額7,506万1千円（うち積丹町分647万9千円）に対し、徴収額は4,893万3千円（同477万1千円）、徴収率65・19%（同73・63%）で、前年度徴収実績と比較すると、徴収額は305万3千円増（うち積丹町分145万円増）、徴収率は8・05%増（同19・17%増）です。

②国民健康保険事業における、令和3年度末の被保険者世帯数は、8,241世帯（うち積丹町383世帯）、総被保険者数は、1万3,575人（同644人）です。

また、令和3年度決算の認定に伴い、総医療費の実績減及び北海道保険給付費等交付金の収入増により、当町の分賦金精算額202万1千円が

還付されます。

③介護保険事業における、令和3年度末被保険者数は、1万8,033人(うち積丹町918人)、前年度同期比225人減(同21人減)で、要介護(要支援)認定者数は、3,759人(同230人)と前年度同期比94人減(同1人減)です。

**公共交通維持対策**

**積丹線バスのあり方検討**

本町の域内の総合的な交通体系の今後のあり方を検討する「積丹町地域公共交通活性化協議会」を主体に、これまで同協議会を3回開催し、法定計画「積丹町地域公共交通計画」策定に向けた検討を続けています。

**岬の湯しゃこたんの改修計画**

**国の支援制度活用へ**

(株)SHAKOTAN GOは、老朽化対策と併せた魅力づくりを目指す施設の改修計画の一環として、当面急がれる露天・浴室・サウナ室・厨房及び給湯配管機械設備等

の改修と、簡易宿泊施設及び屋外テラスの新設整備を検討しているところです。

改修整備費用につきまして、地域金融機関による融資又は出資を条件とする、国(総務省)の産学官連携による民間事業者の地域資源を活用した地域密着型プロジェクト事業への公的支援制度「地域経済循環創造事業交付金(ローカル10,000プロジェクト)」の活用に向けて、国と調整中です。

当該交付金については、金融機関と自治体を含む官民連携地方活性化プロジェクトへの国の地方財政支援制度でありますので、その機動的有効活用の観点から、同社の要望の趣旨に沿って、その実現を目指して鋭意努力しているところと見えます。

国の採択内示の見直しを見極めしだい、適期に所要の補正予算措置を講じてまいります。

**まちづくり活動支援基金補助金**

地域活動支援事業(ソフト事業)の2団体2事業のうち、継続審議となっていた1団体1事業につきまして、10月13日に同事業選定委員会を開催し、応募団体からの追加資料に基づく事業計画内容の説明聴取と審議が行われました。

10月25日、同委員会からの答申に沿い、申請のあった1事業に対する補助金の交付を決定し、当該団体へその旨を通知しました。

**地域おこし協力隊制度の活用**

国の地方財政支援措置を活用した新たな任用形態等に由来し、(12月7日現在)8名の地域おこし協力隊が地域貢献や地域活性化に向けた各種活動を展開しています。

現在、令和5年度任用を希望する町内の公共的団体及び民間事業者の募集を行っていますが、応募団体等における隊員人材の円滑な確保と当町の受入・定着等課題の克服に向けて、同団体等との連携支

援の強化に努めていきます。

**ふるさと納税寄附金の状況**

11月末現在の返礼品取扱登録事業者は、25事業者、79品目で、寄附件数及び金額は、967件(前年度比81件、7.7%減)、3,207万9千円(同比93万6千円、2.8%減)です。

10月4日には、ふるさと納税返礼品取扱参加事業者説明会を開催し、ふるさと納税の全国的な動向や寄附者目線での商品の魅力づくりなど、町内事業者の意見交換を行いました。

**住民福祉課関係**

**各種給付金事業の実施状況**

福祉灯油・生活応援券(Ⅲ)申請開始

福祉灯油につきましては、11月1日現在の町内灯油平均販売価格は、1L当たり約125円(消費税込)で、1世帯当たり1万1千円(前年度助成額1万円)を助成することとしました。

また、生活応援券(Ⅲ)につきましても、課税世帯(国の生活支援臨時特別事業給付金の非対象者)の町民1人当たり1万4千円分の生活応援券(商品券)を配布することとし、12月15日から各申請の受付を開始します。

**インフルエンザ予防接種事業の実施状況**

余市医師会との協議により、余市管内の医療機関の接種単価を3,470円(消費税込・前年同額)として医療機関と委託契約し、また、今年度は65歳以上の課税世帯についても無料とする助成制度の一部拡充措置により事業を実施しています。

10月3日から申請及び接種を開始し、11月末現在の受付件数は726人(前年同期785人)、うち接種済は254人で、医療機関別では町立国保診療所が83人(32.7%)、北後志管内医療機関が151人(59.4%)、小樽市や札幌市等医療機関等が20人(7.9%)です。

## 粗大ごみ収集事業の実施状況

4月から10月まで月1回を収集日として計7回実施し、延べ215世帯、総品目446点、総重量5,295kg（前年度6,745kg）、粗大ごみ処理手数料13万3,300円（同15万3,700円）の収集実績でした。主な内訳は、布団類132点（29.6%）、タンス、ソファ類48点（10.8%）、テーブル類29点（6.5%）、自転車21点（4.7%）です。

## 国保診療所関係

### 外来患者数等の状況

11月末現在の外来患者数の状況は、延べ2,332人（1日平均18人、診療日数129日）で、昨年同期と比較して412人減で、1日平均は1人の増です。（前年度1日平均17人、診療日数162日）また、余別、入舸管内からの患者送迎バスの運行につきましては、延べ222人（67日間運行で1日平均3.3人）

で、昨年同期（67日間運行、延べ263人1日平均3.9人）と比較して41人、1日平均0.6人減という状況です。

## 保育所関係

### 新型コロナウイルスの感染確認

11月21日、びくに保育所の園児及び職員に感染が確認され、感染拡大の防止を図るため、翌22日の1日間を閉所し、施設内の消毒作業を実施しました。9月に続き2回目の閉所措置となり、保護者の皆様には大変ご不便とご心配をおかけしましたが、感染防止対策の一層の強化に努めていきます。

### びくに保育所及びみなと保育所の運営状況

12月1日現在の入所児童数は、びくに保育所23人（前年度比4人減）、みなと保育所5人（同比1人減）です。一時預かり保育事業の11月末現在の利用者数は、延べ10人です。12月4日、みなと保育所生

活発表会を実施し、歌や遊戯など練習の成果を発表しました。びくに保育所は、コロナウイルス感染の確認を受けて、年明けの1月28日に延期しました。

2カ年計画の今年度「びくに保育所改修工事」は、11月30日に完成しました。

### 子育て支援センターの運営状況

11月末現在の利用者は、延べ317人（前年度比116人減）、1日平均2.2人（同比0.5人減）です。

## 商工観光課関係

### 観光施設の利用状況及び商工観光業対策等

「水中展望船」の入込数は、前年度対比1,628人（13.4%）減、売上金額は約196万円（11.9%）減の約1,452万円となり、令和2年度から続くコロナ禍の中、最も厳しい結果となりました。

また、「しゃこたん土産と喰処カラムイ番屋」は、売上金額

が約5,674万円、前年度対比では約2,331万円（69.7%）増となり、コロナ禍前の令和元年度売上金額との比較では、66.5%まで回復しています。

なお「水中展望船」は10月15日（前年度9月30日）に、「カラムイ番屋」は10月30日（同9月26日）に、それぞれ今年度の営業を終了しました。

町内観光施設の入込状況等からは、多くの観光関連事業者がコロナ禍前の水準に戻り切れない実態が続いていると見込まれます。

引き続き、商工会及び観光協会と連携を密にして、国及び道の公的支援制度の積極的な活用を奨励に努め、地域経済を支える商工観光産業を支援し、コロナ禍の持続可能な観光地づくりに取り組みます。

### 積丹岳休憩所を修繕

（二財）日本森林林業振興会札幌支部（支部長・堀 幸男）

では、国有林積丹岳森林レクリエーションエリア機能の保持増進と、森林等利用者の安

全確保等に役立てる地域貢献事業の一環として、同財団の費用負担により、同施設の土台柱材及び腰壁の補強・修繕対策工事を実施しました。

総事業費は153万1,475円で、10月20日に同財団発注工事が完了した旨の報告を受けました。

同財団の森林資源を活かした本町の地域振興へのご高配に深く感謝を申し上げます。

### 海浜清掃活動

9月21日に、北海道イオン同友店会（会長・池田雅之、札幌市）の会員約40名により、野塚野営場の海浜清掃活動が行われました。

同会では、今年度から社会への貢献と地域理解を深めることを目的に、「ビーチクリーン活動&北海道遺産視察」を実施しており、全道を4ブロックに分け、道央ブロックからは本町を活動地として選出したものです。

同会の会員及びイオン北海道株式会社社員の皆様に感謝を申し上げます。

農林水産課関係

農業の概況

新たなる農業協同組合の当町管内畑作物の生産状況は、11月末現在、馬鈴薯は、663万円（前年比308万円、87.0%増）、南瓜は、2,705万円（同比112万円、4.3%増）、パプリカは、408万円（同比112万円、37.8%増）、ニンニクは、377万円（同比74万円、24.4%増）となりました。

7月下旬から8月中旬にかけて降雨の日が多く、生育状況への影響が懸念されましたが、その後天候も回復し、生産量及び販売額ともに前年度を上回る見込みとの報告を受けています。

J A新おたる仁木町トマト生産組合（兼重隆幸組合長、69戸）のミニトマトの販売額は、11月末現在、16億8,776万円（前年比1億4,895万円、9.7%増）となり、積丹地区（6戸）は、1億891万円（同比1,031万円、10.5%増）と

なりました。

生乳の生産量は、9月末に酪農家1戸が離農したことから昨年より減少する見込みです。また、肉用牛については、1戸の農家が肥育素牛の生産・販売を行っています。

鳥獣被害防止対策の状況

被害集中地区や目撃情報多発地区にヒグマ捕獲用檻を設置して駆除にあたっていたところ、10月28日に野塚地区でヒグマ1頭（推定10歳、体重252kg、オス）を捕獲駆除しました。

また、猟友会余市支部によるエゾシカ駆除については、明年3月末までに4回の一斉駆除を予定しています。

黄金岬遊歩道（防災避難路）整備事業

今年度が最終年次の黄金岬自然遊歩道整備を兼ねた米国地区防災避難路整備工事は、9月30日に完了し、10月1日に通行止めを解除しました。また、道営治山事業を検討中の遊歩道の隣接地茶津トン

ネルから総合文化センター裏区間の土質調査、山腹測量などについては、12月9日に完了予定です。

分収造林事業の実施状況

美国団地の地拵施業（5.0ha）は、10月25日に、同地区新植（5.0ha）は、11月25日に完了し、婦美国地六地区基幹作業道開設工事（380m）は、11月17日に完了しました。

J Tの森積丹森林保全活動

本年秋の「J Tの森積丹森づくりの日」森林保全活動が10月1日に行われ、土川北海道副支社長をはじめ、J Tの社員と関連企業、国・道の関係機関職員など65名が参加しました。

当日は、積丹川流域エリア積丹岳地区において、トドマツコンテナ苗1,000本の植樹作業を行ったほか、植物や野鳥などの生態観察活動が行われました。

漁業の概況

11月末現在の東しゃこたん漁業協同組合の当町管内水揚げ状況は、ホッケ、タコなどが前年を上回ったものの、ブリが前年を大きく下回ったことから、水揚量は前年比22.8%（14.2%）減、水揚高では5,125万円（5.2%）減の状況で推移しています。

漁港整備事業の実施状況

美国漁港港口航路浚渫工事は、11月1日に着工し、11月14日までに約1,800m<sup>3</sup>の浚渫を完了しました。

資源増殖関係事業の実施状況

東しゃこたん漁業協同組合の資源放流増殖事業は、上磯郡漁協で生産したエゾバフンウニ種苗17万粒（美国地区10万粒、日司地区3万5,000粒、余別地区3万5,000粒）を9月28日に、また、10月11日と12日の両日に、北海道栽培漁業振興公社羽幌事業所が生産したヒラメ

稚魚3万5,000尾（美国地区1万500尾、幌武意地区7,000尾、日司地区8,750尾、来岸地区8,750尾）を各沖合海域に放流し完了しました。

道のFP魚礁設置工事は、11月17日に魚礁ブロック220基を神岬地区サルワン沖合海域に沈設し完了しました。

建設課関係

町道栄町本通り線付替工事計画の見直し

美国川河川改修事業に伴う町道付替計画に係る計画道路の線形と沿道建物との至近性についての沿線住民からの改善要望を受けて、小樽建設管理部では同計画の見直し検討作業を続けてきたところでありますが、計画の見直しに伴う修正詳細設計の実施を要することとなり、その時間的制約から今年度の工事着工は次年度へ延期することになりました。

## 町道等除排雪対策事業

今年度の除排雪事業計画は、昨年度と同様に除雪車出動基準一夜積雪深10cmを維持し、町道は102路線34・8km、公共施設9・8km、総延長44・6kmを常時除雪路線とし、このうち町道及び公共施設総延長25・4kmは、運搬排雪を実施するとともに、堆雪場所の確保や美国流雪溝の適切な運用並びに町民への排雪実施予定日の情報提供など効果的な対策に努めます。

## 建設工事の発注状況

12月1日現在、土木関係12件、建築関係13件、上下水道関係4件、計29件で、工事契約金額は4億4,535万7千円です。

現在施工中の主な工事は、神威岬自然公園遊歩道整備工事、島武意通り線道路改良工事、船淵4番線舗装修繕工事、新栄橋長寿命化修繕工事、国民健康保険診療所改修工事、倉庫屋根改修工事、公営住宅修繕工事、医師公宅改修工事、

余別・来岸地区配水流量計設備更新工事、水産飲雑用水施設更新工事です。

委託業務は、土木関係5件、建築関係3件、上下水道関係5件、地籍関係1件、計14件、除排雪業務を除く委託契約金額は1億1,257万4千円です。

現在施工中の主な業務は、新美国橋長寿命化修繕実施設計委託業務、美国流雪溝施設巡回委託業務、高齢者福祉施設改修実施設計委託業務、余別小学校改修実施設計委託業務、クリーンセンター改修実施設計委託業務、入舸・野塚地区集落排水施設更新実施設計委託業務、簡易水道・下水道事業公営企業会計適用化支援委託業務、日司泊・野塚地区地籍調査事業委託業務です。これにより、工事と委託業務を合わせた総契約件数は43件、総契約金額は5億5,793万1千円です。

今後、渇水時期における河川維持工事の発注を予定しております。

## 教育行政報告 (要約)



まごう まさひろ 教育長  
(十河 昌寛)

### 学校教育について

令和4年も12月に入り、各校では学期末を迎えようとして

いますが、新型コロナウイルス感染症の猛威は児童生徒にも降りかかり、不定期ではあるものの新規感染や濃厚接触となつて出席停止となる事例が発生しています。

各学校は、三密の回避や換気、手指消毒など基本的な感染対策を実施していますが、今後はインフルエンザの流行が懸念されていることから、うがいや手洗などの対策を合わせて実施するように、指導しているところです。

なお、これら感染症に罹患し、出席停止になつた児童生徒には

体調を見ながら1人1台のタブレット端末を使ったオンライン授業を実施し、学びの継続に努めているところです。

学校においては、2学期は学期の中で最も期間が長く、学芸会や教職員の研修会など、人数制限やオンラインでの開催を交えながらも、主要な行事が多く実施されております。

特に、各学校の学芸会、学校祭は、学校の実情に合わせて学年を分けての実施や時間の短縮、参観者数の制限などを行いながら、10月1日の美国中学校から10月23日の日司小学校まで、すべての学校で行われました。

各学校とも学芸会や学校祭のテーマを掲げ、練習を重ね、劇

やダンス、器楽演奏、体育発表など、日頃の学習の成果を発表していただきました。

学芸会、学校祭の実施に当たっては、保護者や卒業生、地域の方々に声援を送っていたいたほか、準備や運営、出演などにご協力をいただき感謝とお礼を申し上げます。

### 冬季休業

町内の小学校は12月24日から、中学校は23日から冬季休業に入ります。

この冬季休業期間中における児童生徒の生活指導の充実を図るため、学校や警察、町児童委員、町及び教育委員会などで構成する積丹町生活指導連絡協議会を来る12月15日に開催し、児童生徒が規則正しい生活を送ることや計画的な学習、非行の未然防止、関係機関との連携強化などについて協議することとしています。

冬季休業期間中は、町内小学校4校の児童を対象に、自学自習による望ましい生活習慣づくりを目指す「冬休み朝活どう場」を本年も12月26日から2日間実

施予定ですが、例年実施しております姉妹都市高知県香美市児童交流事業の香美市訪問は、香美市教育委員会と協議の結果、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、昨年に引き続き中止としました。

### 美国中学校吹奏楽部定期演奏会

例年、総合文化センターで開催している美国中学校吹奏楽部定期演奏会は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止を考慮し規模を縮小して、去る10月24日、美国中学校において開催されました。

参観を生徒と吹奏楽部員の保護者に限定しての開催でしたが、7名の部員達は、これまで練習に取り組んだ楽曲を精一杯演奏してその成果を披露し、保護者の方々から暖かい拍手をもらっていました。

### 北海道教育大学との連携協力

積丹町と北海道教育大学との相互協力協定締結式を10月14日、蛇穴<sup>じやあな</sup> 治夫<sup>はるお</sup>学長や大学関係者、町議会議員、町内小・中学

校長などの出席のもと、総合文化センターで行いました。

この協定締結により、へき地・小規模校教育の振興や学校教育、生涯学習分野での支援など、双方の資源を有効に活用しながら、様々な取組を進めることとしました。

今年度は、教育大生の「へき地校体験実習」や「草の根教育実習」の受入、またICTを活用した遠隔での放課後学習支援が野塚小学校、余別小学校で行われており、引き続き多面的な連携により協定の効果を大いに期待するものです。

### 生涯学習について

去る11月15日から25日までの期間中4日間、読書意欲の喚起や想像力を育むことを目的とした「B&Gブックフェスタ2022」がB&G海洋センターで行われました。

本事業は、北海道立図書館の市町村活動支援事業を活用し、道立図書館から児童書や実用書等450冊を借用し、ホールに展示し貸し出すもので、4日間で延べ144名の来場がありました。

した。

また、11月24日には、同事業来場者向けに、地域おこし協力隊員と連携し、町内の海岸で収集した海洋プラスチックごみを活用した、海洋プラスチックジュエリーワークショップを実施したところです。

### 社会体育の振興

高齢者の生きがいと健康づくりを目的に、第38回町内ゲートボール大会を10月18日にふれあいゲートボール場において開催し、3チーム12名が参加しました。

また、歩く活動を展開することで、運動習慣の定着を図ることを目的としたB&Gウォーキングクラブは、10月21日、11月18日に健康運動指導士を招いた定例ウォーキング会を開催しました。

今後、令和5年3月31日までの活動期間中、4回の定例ウォーキング会開催を予定しております。

### 文化の振興

第52回積丹町文化祭「展示の部」を総合文化センターにおいて、同実行委員会の主管により、11月2日から4日まで実施しました。

各文化活動団体等への意向調査結果を踏まえ、実行委員会では協議した結果、昨年度に引き続き、今年度も「展示の部」のみで開催としました。

展示作品は、幼児から高齢者までの絵画や手芸、陶芸、俳句、書道など、19団体から309点が展示され、3日間で306名の来場者がありました。

今後におきましても、創作活動等への参加を奨励するとともに、本町における芸術文化活動の振興が図られることを期待しております。

### 令和5年積丹町二十歳の集いについて

令和4年4月1日施行の民法改正により、成年年齢が18歳へ引き下げられたことを受け、今後の成人式のあり方について実行委員会において検討した結果、「積丹町二十歳の集い」に

名称変更し、対象者はこれまでと同様に、開催年度に20歳となる学年として実施することとしました。

今年度については、去る11月24日に第2回実行委員会を開催し、来る1月8日に総合文化センターにおいて実施することを決定しました。

集いの内容は、原則として成人式の式次第を引き継ぐこととし、出席者を限定するなど、感染防止対策を講じながら開催することとしました。

### 子ども第三の居場所の運営状況

「b&gしゃこたん児童家庭教育支援センター」は、条例に基づき通称名として「子ども第三の居場所」を用いることを決定しているところですが、同施設の11月末現在の登録児童数は30名で、今年度のこれまでの延べ利用者数は、1,463名であります。

児童は自主的な学習や遊びのほか、健康運動指導士によるスポーツレクリエーション活動や書道講師による書道活動、拠点マネージャーによる学習指導な

ど、放課後の時間を有意義に過ごしています。

また、地域おこし協力隊員や町内各団体の協力により、バイオリン奏者を招いたハロウィンコンサートやクリスマスコンサート、積丹町の木材を生かした木工教室等、新たな体験プログラムの提供を進めているところです。

さらに、同施設にICT環境の整備を行い、施設内のWiFi環境や児童活動用のタブレット端末等の整備が完了したことから、今後はICT機器を活用した児童個別学習の実施による学習習慣の定着を図る活動や、WEB会議システムによる施設相互間の交流事業等の実施を予定しております。

なお、同施設の運営、機能向上に係る「子ども第三の居場所運営事業」及び「子ども第三の居場所機能向上対策事業」は、4月1日付け承認によるB&G財団助成金の額と内容により事業を進めてきたところでありますが、これまでの事業の進捗状況を踏まえ、当初予算計上の関連事業計画の内容の一部を見直す協議を了したことから、関連

経費に係る歳出予算科目の組替等の補正予算案を提出しました。

## 審議された案件

### 選挙第1号

積丹町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

選挙管理委員会委員及び補充員の任期満了に伴い、地方自治法の規定により、委員及び補充員を選挙するもの。

#### ◆委員

吉田 眞治 (美国町)

の場 無縫 (美国町)

能代谷 磨理子 (神岬町)

小笠原 司 (美国町)

#### ◆補充員

坂野 武彦 (美国町)

佐々木 忠義 (美国町)

大西 貴久子 (来岸町)

馬場 大 (美国町)

(当選)

### 諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦について

法務大臣への人権擁護委員候補者の推薦にあたり、議会の意見を求めるもの。

成田 康正 (73歳・美国町)  
鳴海 君子 (64歳・入舸町)  
吉田 美香子 (46歳・余別町)  
(適任)

### 議案第1号

令和4年度積丹町一般会計補正予算(第5号)について

庁舎等管理費(暖房設備修繕・議員控室椅子更新)340万円、保育所費(厨房冷凍冷蔵庫更新)50万円、母子福祉費(ひとり親家庭等医療費関連)41万円、保健衛生総務費(子ども医療費関連)31万円を追加し、歳入歳出予算の総額を33億8,344万6千円にしようとするもの。  
(原案可決)

## 新型コロナニュース

～新規感染者急増中～  
今後の“コロナ第8波”に警戒を!

～自分の命を守る・  
家族の命を守る・社会の命を守る～

コロナに負けない!

道民の『3つの行動』の徹底

- ① 帰省・旅行等の移動**  
■年末年始は混雑する場所が多くなることから基本的な感染対策を再徹底。
- ② 飲食**  
■大声や長時間の回避、マスクの着用。
- ③ 普段会わない高齢者等と会う**  
■高齢者や基礎疾患のある方、そうした方々と会う方の双方が基本的な感染対策を再徹底。  
■高齢者や基礎疾患のある方と接する場合の事前検査。

積丹町のコロナワクチン接種状況 (12月31日見込)

全町民接種対象者	1,825人
1回目接種者数	1,578人 (86.5%)
2回目接種者数	1,571人 (86.1%)
3回目接種者数	1,458人 (79.9%)
4回目接種者数	1,231人 (67.5%)
5回目接種者数	616人 (33.8%)

### 北海道の状況

【累計感染者数】  
1,207,551名  
【死亡者数】  
3,932名  
- 12月25日現在 (道公表) -

### 北後志感染制御センター 「余市協会病院」でPCR検査

- 検査予約 月曜日～金曜日に予約受付 (当日不可)
  - 検査当日に持参するもの  
本人確認書類 (運転免許証、健康保険証など)
- 【問合わせ先】余市協会病院 TEL 0135-23-3126